

熱帯の有用材 (12)

緒 方 健

ゼブラウッド (Zebrawood)

学名 : *Microberlinia brazzavillensis* A. Chev.
 (Syn. : *Brachystegia fleuryana* A. Chev.)
 および *M. bisulcata* A. Chev. (マメ科)

Microberlinia 属はマメ科カワラケツメイ亜科 (Caesalpinioideae) に属する樹木で、上記の2種からなる。ゼブラウッドの名はゼブラ (Zebra) すなわちシマウマ (縞馬) のように縞の多い木材の意で、ゼブラノ (Zebrano) ともいわれる。ただしわが国では単にゼブラと呼ばれることがふつうである。このほかカメルーンやガボンではジンガナ (Zingana) またはイジンガナ (Izingana) の名で知られ、木材市場でもこれらの名が用いられることがある。最後に付記したように、南米やアジアに産する全く別の木材にもゼブラウッドの名をもつものがあり、これと区別するためにアフリカンゼブラウッド (African Zebrawood) とも称される。しかし一般にはゼブラウッドといえば本種を指す。

熱帯西アフリカの樹木で、*M. brazzavillensis* がカメルーン、ガボン、コンゴ、赤道ギニアに、また *M. bisulcata* がカメルーン、ガボンに分布するが、ともにあまり多くはない。主要種は *M. brazzavillensis* である。

樹木の形状 : 樹高 40~45 m, 直径 50~100 cm に達する高木で、円筒状かまたときにはやや曲がった樹幹をもち、18~20 m の枝下高がある。板根はあるが、あまり著しくはない。樹皮は灰色で、若木では平滑だが、成木~老木では大きな鱗状または薄片状にはげ、鹿子状に赤いはん痕を残す。樹皮の厚さは 0.5~1.0 cm で、内樹皮は赤褐色。葉は偶数羽状複葉で、互生する。小葉は対生し、8~14 対あり、長さ 10~16 mm, 幅 5~7 mm の長楕円形で、先端がやや凹む。花序は長さ 8~10 cm の円錐花序で、頂生する。花は帯緑白色の小花で、萼片 4, 花弁 5, 雄ずい 10。果実は長さ約 18 cm, 幅約 5 cm の扁平なさやで、熟すると木質化し、中に 3~6 個の種子がある。以上は *M. brazzavillensis* についてであって、*M. bisulcata* もほぼこれと同様だが、後者の方が小葉がやや大きく、数も多い。

木材の特徴 : 辺材は灰白色~淡黄灰色で広く、10~15 cm に達する。心材は灰褐色~黄褐色~淡褐色の地に幅 0.3~2 mm の黒褐色の筋が 2~7 mm の間隔で入り、明瞭な縞模様をなす。肌日はやや粗、木理はやや交錯する。気乾比重 0.64~0.80。

顕微鏡的な識別上の特徴としては、道管の多くは孤立するが、2~3 個複合するものも混じる。孤立管孔の最大径は 230~300 μm 。道管の分布数は 4~11/mm²。放

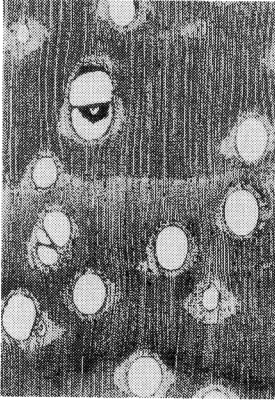


写真-1 *M. brazzavillensis*
木口面 (16 ×)

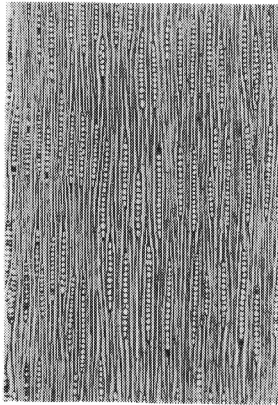


写真-2 同左 板目面(40 ×)

射組織は1列(部分的に2列のことがある)、高さはおおよそ200~300 μm で、やや不規則な層階状配列をする(肉眼的にリップマークがみられるがあまり明瞭ではない)。軸方向柔組織は道管の周囲を包む翼状柔組織と2~10mm程度の

不規則な間隔で走る細い带状柔組織とからなる。繊維は長さ1.1~1.7mm。結晶がくさり状に連なる多室結晶細胞が多数存在し、これは翼状柔組織の外周に沿って分布する。シリカは含まない。

木材の加工性としては、乾燥はあまり容易ではなく、とくに板目材は狂いやすい。切削性は良好で、良い仕上がりが得られる。もっぱら装飾材として用いられ、ふつう柁目の突き板にする。また、屋内造作の装飾的部分にむくの板で用いることもある。しかし室内の大きな壁面や家具の鏡板には、明暗の縞模様がきわ立ちすぎ、落ち着かないのであまり適さない。

Microberlinia 属の樹種のほかに同様に木材が明瞭な縞模様をもつ樹種がいくつかあり、やはりゼブラウッドと呼ばれることがある。それには次のようなものがある。

Marmaroxylon racemosum (Ducke) Killip ex Record (= *Pithecellobium racemosum* Ducke) (マメ科, ネムノキ亜科) 心材は淡黄褐色の地に紫褐色の縞がある。気乾比重1.05~1.25で重硬。南米アマゾン地域からギアナに分布するが少ない。ふつうは *Angelim Rajado* の名で知られる。

Macrobium spp. (マメ科, カワラケツメイ亜科) この属の樹木は南米とアフリカに約50種あるが、そのうち心材に濃色の縞をもつものとしては南米の *M. biflorum* (Aubl.) Pers., *M. acaciaefolium* (Benth.) Benth. などがある。

Astronium fraxinifolium Schott および *A. graveolens* Jacq. (ウルシ科) 中米から南米北部にあり、とくにブラジルでは *Gonçalo Alves* の名で知られる。心材は褐色~赤褐色で、黒褐色の縞をもつが、ゼブラウッドほど境が明瞭ではない。重硬。

Diospyros spp. (カキノキ科) 黒檀の中にも美しい縞をもつものがあり、例えば Andaman Marblewood: *D. marmorata* Parkh. (アンダマン諸島) がある。